

全国の1年目研修医の皆さん（「新社会人の皆さん」かも知れません）にとっては、連休明けの勤務となって5月病の真ただ中になりかねない時期です。幸い、当院の1年目研修医の皆さんは元気に出勤しています。

やはり社会人として求められるものごとは、学生の時とは違います。張り詰めた1か月が続けばそろそろくたびれてきてもおかしくはないでしょう。

ローテーションのくじ運もあると思います。忙しかったり、そんなでもなかったり。どちらが良いのでしょうか。

私がいる救急科では、ついこの間まで学生の1年目研修医であっても、お客様でも見学者でもありません。診療チームの一員として診察も指示出しも、またカンファレンスでの討議も行います。

今年は当院では初めての職種となるNurse Practitioner (国立病院機構ではJNPと称しています)が卒後研修に来ており、研修医と一緒に過ごしています。JNPは決められた手順書に沿って診療をしますが、その中で自身の判断で物事を決めて行うため、1年間は研修医と同じ様な日常を過ごしています。毎朝のカンファレンスでも、皆で並んでプレゼンしています。同じ1年目なので助け合いながら頑張っていますね。今は1年目研修医3名とJNPに加え、藤沢湘南台病院から2年目の先生がICUの勉強に来てくれており、5名で研修に励んでいます。朝から晩まで全力疾走ですが、「あんまり無理はしないで欲しい」と思う一方で、「そういう時期が人生には必要なんだよ」と思ってみたりなど、いろいろ考えてしまいます。



話は変わりますが、5月連休明けからリアル病院見学も再開しています。当院研修医のみんなの奮闘ぶりも見がてら、ぜひお出で下さい。

端っこには見学の学生さん。来年はここでプレゼンしているかも知れませんね。